

病院だより40



こんにちは美東病院

リハビリテーション室です

美東病院リハビリテーション室

リハビリテーションとは、ケガや病気によって障害を受けた人が、単に体の機能の回復だけでなく、生活や環境、社会なども含めた患者さんを取り巻くすべてのことがより良い方向へ目的を持って向かうことができるように医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、家族などすべての人々が協力して支援することをいいます。

美東病院リハビリテーション室では、現在、理学療法士3人、マッサージ師1人のスタッフが勤務しています。理学療

法士とは、病気やケガなどにより体が不自由になった人に対し、身体と心の両面から機能回復、維持をはかることで、患者さんの生活の質を改善することを支援していく国家資格を持った医療技術者のことです。

美東病院リハビリテーション室で行うリハビリテーションは、運動療法と物理療法があります。

運動療法は、筋力や関節の動きにくさの改善などを通じて、日常生活活動や歩行などの運動機能を高めます。

骨折やけがなどによって手術や固定などを行ったことで関節が動かしくなったり、筋力がなくなると体が動かしくなったりしたような人が退院後も日常生活で困ることが無いよう機能を回復させたり、日常生活上の指導を行います。

脳卒中により体にマヒを起こしたような場合では、なるべくマヒが残らないように早期から運動を行い、もしマヒが残っても日常生活が円滑に送れるようリハビリテーションを行うていきます。

また、昨年より手術や化学治療を目的に入院したがん患者さんへの個別のリハビリテーションも行うようになりました。

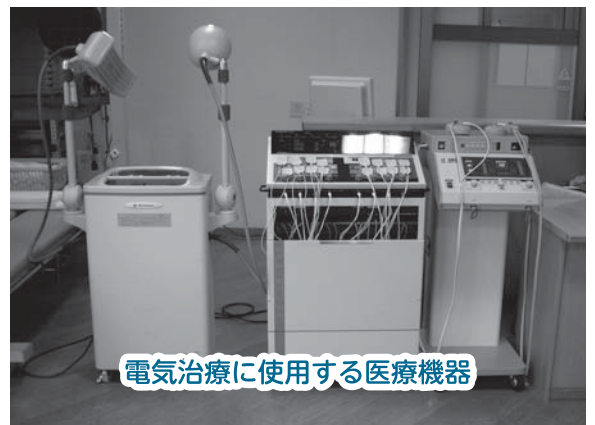
このほかにも病気などによりベッドで寝ている期間が長くなり体を動かすことが不自由になったいわゆる廃用症候群の人には、筋力、体力を回復させながらできることを少しずつ増やしていきます。

物理療法では、痛みの緩和や循環の改善、関節などを動かすやすくなることを目的とした電気治療や温熱療法、腰や首を引く張る牽引治療、マッサージ師によるマッサージなどを行っています。

運動療法や物理療法を行いながら患者さんの退院後の生活が以前と同じ様に、なるべ



リハビリテーション室



電気治療に使用する医療機器

く不自由がなく送ることができるよう援助しています。もしも以前のような生活に戻れない場合でも、患者さんの状況にあったより良い選択ができるよう支援しています。

これらの運動療法や物理療法は外来でも受けていただくことはできませんが、医師のリハビリテーションの指示が必要になりますので、まずは整形外科や内科などを受診してください。また、経過をみるためにも定期的な受診が必要になりますので、詳しくは各診療科までお問い合わせください。

また、入院患者に対し、退院に向けた自宅での生活を見据えた指導を行ったり、病院外の介護支援専門員や介護サービス事業所と連携し、患者さん本人だけでなく家族への訪問生活指導や住宅改修の相談のため患者さんの自宅への訪問なども行っています。

このほかりハビリテーション用の靴、杖、歩行器なども取り扱っています。杖先のゴムが磨り減っている場合にはゴムだけの交換もできます。シルバーカー、装具、簡易コルセットなどの相談にも応じていますので、お気軽に相談してください。

問合せ先 美東病院

(080)3996(2)0515

市長と語る未来創造まちづくり座談会結果報告



●開催日等

日時 1月19日(木) 18時～19時40分
会場 別府公民館大会議室

●出席者

市：市長、副市長、部長級職員、事務局(地域情報課)
参加者：40名

●提案内容

【提案】 生活道として使用する農道を舗装してほしい。
連合婦人会だけでなく、単位婦人会にも助成金、補助金をお願いしたい。(女性)

【回答】 農道舗装を行う事業については、単県農産漁村事業(県費補助)、美祢市単独土地改良事業(市費補助)、農地・水・環境保全向上対策事業があります。

単県事業については、現在、予算が少なく、農道舗装には予算が付かない状態が続いており採択されることが非常に困難な状況にあります。従って、農地・水・環境保全向上対策事業による地元へ交付される補助金で対応していただく方法が、現段階では現実的な手法となりますので、今後要望等あれば協議を進めていきたいと考えます。

市では、社会教育団体の育成事業として、自主的に事業活動をされる団体に、活動に要する経費の一部として補助金を支出していますが、現在7団体の社会教育団体が対象となっています。

市連合婦人会も社会教育団体として、自主的に研修会やボランティア活動をされ、市の行事へも協力いただいているところです。活動の企画・運営・通帳管理等においても適正であり、つねに良好で効率的な運営がされています。

団体の中には支部組織のある団体もありますが、補助金の支出については、いずれの団体も一括して支出しています。したがって、単位婦人会の補助金については、連合婦人会のみなさまで協議していただきたいと考えます。(市長)

【提案】 秋芳有線放送廃止に伴う今後の体制、新規方針・施設等について、どのようにお考えか。(男性)

【回答】 美祢市秋芳地域情報通信施設(秋芳有線)は、昭和32年に旧秋芳町において電話の普及と地域内の情報伝達を目的として開局し、現在約1,800世帯(秋芳町の約8割)が加入しており、平成16年10月からはインターネットサービスを開始し、秋芳地域のブロードバンド化を牽引してきました。

秋芳有線の業務のうち、電話サービスについては当初の「電話の普及」の目的を果たし、インターネットサービスについても、平成22年8月から開始した山口ケーブルビジョンによる同サービスとエリアが重複することとなったことにより、今後の方針として、平成25年3月末までに秋芳有線の有線電話及びインターネットサービスを廃止し、同時に指定管理による運営も廃止することとしています。

また、音声告知機能については、美祢地域、美東地域、秋芳地域において合併前からのそれぞれの音声告知方法を継承しており、将来的には市内全域で一元化することが必要であります。新たな告知方法が確立されるまでは既存施設を使用します。

そのため、平成24年度から防災部局(総務課)や消防部局などの関係機関を交え、新たな告知方法に係る検討会を開催し、どのような方法によりどのような整備を行うのが本市にとって最適なのか、また、災害時や停電時にどういった告知体制をとるのかなど協議を行うこととしています。(市長)

【提案】 堅田バイパスから弁天池に通じる道路改修計画について
弁天池にあるふれあい広場について、子どもたちが安心して遊べるような遊具等の設置をお願いしたい。(男性)

【回答】 弁天池へのアクセス整備の必要性は感じていますが、市の財政状況などからすると、現時点では難しいと考えます。しかし、世界ジオパークの認定に向けた活動の中で、別府弁天池をジオポイントの1つとして取り上げる予定ですので、今後の観光客等の動向を踏まえて、必要性が増せば検討したいと考えます。

ふれあい広場については、指定管理で地元で管理していただいておりますが、今回このようにご要望があがったことを踏まえて、子どもたちが安心して安全に遊べるように前向きに検討し、計画していききたいと考えます。(市長)